（注１）金融商品の時価の算定方法

①　投資有価証券

これらの時価について、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっている。なお、有価証券の中に含まれる譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

②　長期貸付金

回収見込額等により、時価を算定している。

③　長期未収附属病院収入及び未収附属病院収入

一般債権について短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。また、貸倒懸念債権等については、回収見込額等により、時価を算定している。

④　現金及び預金、⑤　未収入金、並びに⑨　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

⑥　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑦　長期借入金、並びに⑧　リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入、またはリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっている。

８．賃貸等不動産の時価等の開示

賃貸等不動産の総額に重要性がないため、記載を省略している。

９．資産除去債務

⑴　当該資産除去債務の概要

附属病院建物の解体時におけるアスベスト除去費用等につき資産除去債務を計上している。

また、平成26年６月１日付けで「石綿障害予防規則」が改正され、看護師宿舎他の煙突に使用している断熱材がアスベスト除去費用の対象となったため新たに計上している。

⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を６～50年と見積り、割引率は使用見込期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の流通利回りを採用しており、0.293～2.304％としている。

⑶　当事業年度末における当該資産除去債務の総額の増減

当事業年度における資産除去債務の残高の推移は次のとおりである。

期首残高	70,772千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	26,133千円
時の経過による調整額	1,821千円
期末残高	98,728千円

10．固定資産の減損

翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産

⑴　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所などの概要

用　途	種　類	場　所
診　療	建　物 構 築 物	医学部附属病院　病院本館 （三重県津市江戸橋２―174）

⑵　使用しなくなる日

場　所	種　類	使用しなくなる日
医学部附属病院　病院本館 （三重県津市江戸橋２―174）	建　物 構 築 物	平成27年５月

⑶　使用しないという決定を行った経緯及び理由

翌事業年度以降の特定の日以後、附属病院本館病棟の取り壊しが行われるため使用しないという決定を行った。

⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

（単位：千円）

場　所	種　類	帳簿価額	回収可能サービス価額	減損見込額
医学部附属病院　病院本館 （三重県津市江戸橋２―174）	建　物	1,401,543	―	1,401,543
医学部附属病院　病院本館 （三重県津市江戸橋２―174）	構 築 物	29,057	―	29,057

国立大学法人滋賀大学平成26事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人滋賀大学平成26事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

平成27年10月８日

滋賀県彦根市馬場一丁目１番１号
国立大学法人滋賀大学
学長　佐和　隆光

貸　借　対　照　表

（平成27年３月31日）

国立大学法人　滋賀大学　　（単位；千円）

資産の部		
Ⅰ　固定資産		
１　有形固定資産		
土地		13,181,418
建物	9,060,193	
減価償却累計額	－4,151,672	4,908,520
構築物	1,294,117	
減価償却累計額	－768,807	525,310
工具器具備品	1,096,708	
減価償却累計額	－629,994	466,714
図書		2,380,073
美術品・収蔵品		148,186
船舶	83,679	
減価償却累計額	－71,090	12,589
車両運搬具	20,741	
減価償却累計額	－18,634	2,107
有形固定資産合計		21,624,920